

## アンケート結果にみる授業の成果と課題（平成 27 年度）

学校教育講座・山田 誠

### 1. 授業の概要

#### (1) 受講者

本授業は、学校教育基礎コース教育学専修の「教育学に関する専修科目」（後学期開講、選択科目）であり、主な対象は2年生である。今年度の受講者数は14名であり、うち2名は他専修生、1名は新課程（生涯学習群）からの受講者、1名は他学部生である。

#### (2) 授業の目的・到達目標

本授業の目的は、まず、生涯学習を支援するための基礎的知識を身につけ、とりわけ成人期の学びの支援について、子どもの学びの支援と対比させ、また関連付けながら理解することである。また、各教育部門の取り組みにおいて、子ども期から成人期へと、生涯学習者としての成長をどのように支援することができるかを考えることができるようになるということである。

授業の到達目標は、次の4項目である。

1) 生涯学習、生涯教育に関する基礎概念、及び生涯学習関連施策の動向を把握し、説明できる。

2) 学習支援の基礎理論及びアンドラゴジーの原理について理解し、説明できる。

3) 生涯学習者としての成長や自己主導的学習の支援について理解し、説明できる。

4) 学校教育や社会教育等、各教育部門の特質を把握し、各部門において生涯学習者としての成長の支援にどのように取り組まれるべきかを主体的に考え、論述することができる。

#### (3) 関連するディプロマ・ポリシー (DP)

学校教育教員養成課程の卒業時の到達目標 (DP) のうち関連する項目は、「教科・教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。(知識・理解)」を想定している。

#### (4) 授業の方法・形態

基本的には教科書・配付資料を用いた講義形式中心の授業であるが、板書やビデオ視聴、発問や受講者の意見発表、受講者との対話を

取り入れるよう工夫している。

### 2. 「授業時間外学習の促進」について

本授業では、シラバス（授業時間外学習にかかわる情報）に、「毎回の授業終了後には、学習内容を振り返り、再確認しておく。教科書の指示された箇所をよく読んでおく。配付資料に予め目を通す。課題として指示される場合のみならず、図書館等を利用した発展的学習に努め、その成果をコメント・カードに報告したり、記述内容に活かしたりすること。」と記載し、第1回授業時のオリエンテーションでもこれを確認した。筆者は、受講者との双方向性を確保するとともに、受講者における授業内容の理解・定着や思考の深化を促す手立てとしてコメント（振り返り）カードを用いてきた。通常、授業時間内に同カードの記述を求めているが、本授業では昨年度から、授業内容についてよりじっくりと考察を深められるよう、持ち帰って授業時間外の時間を使って記述し、次回授業時に提出することにした。また、授業時間外に教科書を読んで学んだことや自己学習・発展的学習を行った成果をコメントカードに記入・報告することを奨励するとともに、その記述内容も評価（加点）の対象とすることを伝えている。

### 3. アンケート結果

15回目の授業（期末試験と振り返り）のかわりに、授業全体を振り返っての、受講者による授業評価アンケートを実施した。アンケートは、4段階評価形式の質問が4項目11問と自由記述形式の質問が2問である。回答者数は、12名であった。

以下にアンケートの結果を示す。

#### (1) 授業全般についての結果

##### 【授業の内容に関する質問】

1-1. 「関心・興味」この授業で取り上げられた事柄について、関心・興味がわいた。

4. そう思う：4名（33.3%）

3. まあそう思う：6名（50.0%）

2. あまりそう思わない：2名（16.7%）

1. そう思わない：0名（-）

【授業担当者の授業方法に関する質問】

2-1. [わかりやすさ] 教員の説明の仕方はわかりやすかった。

- 4. そう思う：4名 (33.3%)
- 3. まあそう思う：6名 (50.0%)
- 2. あまりそう思わない：2名 (16.7%)
- 1. そう思わない：0名 (-)

2-2. [視聴覚教材等] プリント、黒板（ホワイトボード）、メディア（ビデオ等）の使い方は効果的だった。

- 4. そう思う：3名 (25.0%)
- 3. まあそう思う：6名 (50.0%)
- 2. あまりそう思わない：2名 (16.7%)
- 1. そう思わない：1名 (8.3%)

【授業全体に関する質問】

3-1. [得るものがあつたか] この授業により、考えが培われたり、得るところがありましたか。

- 4. そう思う：7名 (58.3%)
- 3. まあそう思う：5名 (41.7%)
- 2. あまりそう思わない：0名 (-)
- 1. そう思わない：0名 (-)

3-2. [目的・目標達成度] この授業の目的・目標は達成された。

- 4. そう思う：1名 (8.3%)
- 3. まあそう思う：11名 (91.7%)
- 2. あまりそう思わない：0名 (-)
- 1. そう思わない：0名 (-)

3-3. [満足度] この授業は全体として満足のいくものだった。

- 4. そう思う：5名 (41.7%)
- 3. まあそう思う：6名 (50.0%)
- 2. あまりそう思わない：1名 (8.3%)
- 1. そう思わない：0名 (-)

(2) 授業時間外学習についての結果

4-1. [自己学習・発展的学習] あなたは、この授業に関連して興味を持った事柄や疑問点について、授業時間外に図書館やインターネット等を活用して調べてみることを積極的に行いましたか。

- 4. そう思う：2名 (16.7%)
- 3. まあそう思う：3名 (25.0%)
- 2. あまりそう思わない：5名 (41.7%)
- 1. そう思わない：2名 (16.7%)

4-2. [積極的にできなかった理由] 【上の4-1.

【自己学習・発展的学習】の質問で、「2. あまりそう思わない」「1. そう思わない」を選択した人のみ回答。\*回答対象者は7名  
あなたが授業時間外の学習に積極的に取り組めなかった理由として当てはまるものはありますか。（複数選択可）

- 1. アルバイトで忙しくて時間がない。 3名 (42.9%)
- 2. サークル活動で忙しくて時間がない。 3名 (42.9%)
- 3. 他の授業の課題や準備が忙しくて時間がない。 5名 (71.4%)
- 4. 何を取り上げて調べればよいか分からない。 4名 (57.1%)
- 5. 調べ方がよく分からない。 0名 (-)
- 6. 授業時間外学習の必要性を感じない。 0名 (-)
- 7. 成績評価において授業時間外学習のウェイトが高くない。 1名 (14.3%)
- 8. 課題として具体的に指示された方が取り組みやすい。 3名 (42.9%)
- 9. 個人ではなくグループの方が取り組みやすい。 0名 (-)
- 10. その他（具体的に： ） 0名 (-)

4-3. [コメントカード(1)] あなたは、各回の授業内容を振り返り、自分が考えたこと、疑問、感想等を、コメントカードに記述することができましたか。

- 4. そう思う：4名 (33.3%)
- 3. まあそう思う：7名 (58.3%)
- 2. あまりそう思わない：1名 (8.3%)
- 1. そう思わない：0名 (-)

4-4. [コメントカード(2)] あなたは、図書館等を利用した自己学習・発展的学習の成果や教科書を読んで学んだことを、コメントカードに記述することができましたか。

- 4. そう思う：2名 (16.7%)
- 3. まあそう思う：5名 (41.7%)
- 2. あまりそう思わない：1名 (8.3%)
- 1. そう思わない：4名 (33.3%)

4-5. [コメントカード(3)] あなたは、コメントカードを記述することが、授業内容について振り返り、理解や考えを深めるのに役

立ったと思いますか。

4. そう思う：6名（50.0%）
3. まあそう思う：6名（50.0%）
2. あまりそう思わない：0名（－）
1. そう思わない：0名（－）

### （3）自由記述の結果

1) この授業を通して学ぶことができたこと、考えが培われたことは、どのようなことですか。

- ・将来教員となる時に、子ども期の学習だけではなく、それ以降も学習していくことのできる力の育成が大切だと学んだ。
- ・生涯学習、成人期学習を支援している場合は身のまわりに多くあるが、活用されていないということを感じた。それを生かす方法を考えることがこの先、必要になってくると思った。
- ・教育観が変わった。学校教育中心に考えが偏っていたことが分かった。
- ・学校教育外の教育は幅広く、まだまだいろいろな可能性があるのではないかと思います。
- ・人が生きる上で大切なものなので、教育学部のみならず、すべての学生に受講していただきたい。
- ・この授業で社会教育について学習するまでは、社会教育がどのようなものかも知らなかったため、教員になる前に社会教育について学べてよかったです。
- ・学校教育と社会教育の連携・協力が大切だと学んだので、今後の学校教育について、また社会に生きるひとりの人間としての在り方を考えていきたいと思っています。

2) 授業でよかった点、あるいは、こう改善するとよいという指摘など、自由に記述してください。

- ・「学芸員」という仕事について、ビデオを見ることができて、学社連携という観点を深めることができて良かったと思う。
- ・先生の説明が丁寧なのが良かった。黒板をもっと活用してほしいと思った。
- ・毎回のコメントカードは授業のふり返りにもなったので、良かったなと思います。
- ・説明がとても論理的で分かりやすかったです。
- ・説明を聞く時間がながいので、何か自分たちがアクションを起こすこと（板書・グループワークなど）も積極的に取り入れたらもっと興味を持てそうです。

## 4. 総括

授業全般についての結果（3-1.～3-3.）は、

9割以上の肯定的回答を得ているものの、特に「目的・目標達成度」に関しては「そう思う」の選択率が低く、なお改善を必要とする。

授業時間外学習の促進に関しては、コメントカードの活用を中心に、授業時間外学習の中でも、特に自己学習・発展的学習の取組を促すことを試みた。しかし、アンケート結果4-1.が示すように、積極的に取り組めたのは4割ほどにとどまっている。また、4-4.より、自己学習・発展的学習の成果をコメントカードに記述できたという回答も、6割弱であった。自由記述の回答例にもあったように、授業内容を振り返り、理解や考えを深める上では、コメントカードは活用されており（4-3.）、役立ったと捉えられている（4-5.）。だが、コメントカードによる自己学習・発展的学習の促進効果については、さらに検討・工夫が必要である。

今回、授業時間外の自己学習・発展的学習に積極的に取り組めなかった回答者に対して、その理由を尋ねてみた。「他の授業の課題や準備が忙しくて時間がない。」（回答対象者の約7割）が最も多く、次に「何をとり上げて調べればよいか分からない。」（約6割）、次いで、「アルバイトで忙しくて時間がない。」「サークル活動で忙しくて時間がない。」、及び「課題として具体的に指示された方が取り組みやすい。」の3つが、ともに4割ほどで並んでいる。自己学習・発展的学習として取り上げる対象を自力では見つけにくく、アルバイトやサークルで忙しい中、具体的に指示された他の授業の課題のほうが優先されるということであろうか。

今後は、コメントカードを利用した授業時間外学習の促進において、自己学習・発展的学習のためのヒントやアドバイスを提供するなどして意欲を高めたり、また、課題としての具体的な指示も適度に取り入れたりするなどの手立てを検討していきたい。